

いきいき 行田人

「税についての作文」で

国税庁長官賞を受賞

岩崎 里衣さん（15歳・谷郷）

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が、全国の中学生を対象に募集を行った「税についての作文」。今月は、全国56万1千537編の応募作品の中から、栄えある賞である国税庁長官賞を受賞した岩崎里衣さんを紹介します。

岩崎さんが「税についての作文」に応募したのは今回で2回目。前回は、行田市の中学生海外派遣研修に参加した体験をテーマに作文を書き、埼玉県納税貯蓄組合連合会優秀賞を受賞しました。今回は、夏休みの社会科の課題で税の作文を書くことになったのですが、夏休みの最終日までテーマが思い浮かばず、悪戦苦闘していたそうです。そんな中、ふと岩崎さんの頭をよぎったのは、4歳年上の姉が生まれた時に、命を救ってくれた埼玉県立小児医療センターのことでした。以前から、同センターが税金で運営されていることを知っていたこともあって、岩崎さんは「埼



玉県立小児医療センターによって、姉が命を救われたことをテーマに作文を書こう」と決めました。

作文を書き始める前に、何度も何度も当時のことを家族に聞いた岩崎さん。「幼いころから、耳にたこができるくらい姉の話聞いていましたが、具体的に聞いたのは初めて。壮絶な状況に驚きました」と振り返ります。そして、家族への取材を基に出来上がった作文、「守れ、小児医療センター」が国税庁長官賞を受賞したのです。母が早期胎盤剥離で、母子共に危険な状態であったこと、超未熟児で生まれた姉の命を救うため、設備が整った同センターへ移るまでの間に、何度も姉の命が窮地に立たされたこと、姉が未熟児専用のドクターカーで搬送され、その後入院を繰り返しながらも、現在は元氣な姿でいることなど、リアリティー溢れるように書くことを心掛けた岩崎さん。「救えるはずの命があるのなら、そのために税金を使うことは生きた税金の使い方の一つ」と正直に税への思いもつづりました。

「作文を書いたことで、税金は私たちの生活に欠かすことのできないものだと感じました」と税について、さらに理解を深めることができた岩崎さんは、現在受験生。元氣に大学の薬学部に通う姉のように「将来は、医療関係の仕事に携わりたい」と夢を語り、一歩ずつ未来への階段を上り始めているように見えました。

私の作品

俳句

忍 岡田 修

好晴の秋惜しむかに土手の山羊

長野 内山 計江

落葉して実の細りたる狭庭かな

佐間 藤田 久仁

天高しばあと呼ばれてうれしかり

須加 須加かつ江

神の留守 狛犬達も大欠伸

須加 蓮 陽子

銀杏の黄あざやかなりし日に映えて

壱里山町 斉藤 閑風

ふんぎりのつかぬ引き時蜂の冬

長野 篠崎 礼子

猫を連れ落ち葉踏みしめ歩く道

佐間 矢澤喜美江

榛名山友と旅する紅葉路

城南 町田ツギ子

立冬もすぎし小雨やもの悲し

矢場 鈴木かつの

部屋の名のどれも山の名秋の宿

裏表街路を染める落葉舞う

城西 山下 利江

冬寒や葉袋の一つふえ

佐間 須永 節子

池の端歩けば鴨も寄り来たる

天満 青柳 欣吾

なにはさて病みし夫へと栗御飯

城南 橋本千枝子

小春日や赤子の寝息腕の中

清水町 柳沢 紀子

（木島 斗川 監修）



『朝の光』（パッチワーク）
米川 晴子（長野）

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日まではがき・封書で広報広聴課へ応募ください。



小林 蕾叶ちゃん（長野）
父・誠弥さん 母・小百合さん
平成23年1月14日生まれ
「ニコニコ元気に育ってね。」



番場 結愛ちゃん（持田）
父・幸次さん 母・由季子さん
平成23年1月21日生まれ
「笑顔いっぱい元気な子に♡」



田中 秀典ちゃん（持田）
父・修さん 母・諭子さん
平成23年1月9日生まれ
「元氣いっぱい明るい子に」

はじ め ま し て



新島 千尋ちゃん（須加）
父・弘康さん 母・悠子さん
平成23年1月14日生まれ
「♡食いしん坊の千尋です♡」



柏崎 舞花ちゃん（持田）
父・暢さん 母・香織さん
平成23年1月15日生まれ
「一緒にたくさん笑おう♡」

平成23年3月生まれのお子さんを募集します

○1月4日(水)～31日(火)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。



○応募者多数の場合は、2月6日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。

さわやか サークル

太井太極拳クラブ

～心と体と呼吸を一つに～

同クラブの練習は、精神と体の調子を整えるために、太極拳で基本となる「立禅」や、両手を大きく振って全身をリラックスさせる準備体操からスタートします。ホールには、中国の音楽に合わせて、講師の河端慶雄さんの落ち着いた掛け声が響き渡っていました。「一つひとつの型を丁寧に指導してくれるので、安心して動作に集中できます」と語るメンバーの皆さん。現在は、春と秋にほかの太極拳クラブと合同で行われる演舞研修会を目標にして、一生懸命練習に取り組

「楊名時太極拳」は、24の型に合わせた心と体と呼吸を調和させることを意識しながら、自分の健康と幸せのため、併せて周りの人の健康と幸せを願う心で行うもので、健康太極拳と呼ばれています。太井太極拳クラブの皆さんも、毎日を健やかに過ごすとう楊名時太極拳に取り組んでいます。太井公民館の講座がきっかけとなり、平成20年から活動を始めた同クラブは、男女合わせて20人のメンバーが毎週木曜日の午前10時から11時30分まで、のびのびと体を動かします。



長い歴史を持つ中国の武術として生まれ、現在ではそのゆとりとした動きから、誰でも気軽にできる健康体操として日本全国に普及している太極拳。中でも全国各地に愛好家がいる



「自分のペースで、リラックスして長く続けることが大事です」と満面の笑みを浮かべるメンバーの皆さん。おそろいのユニホームを着て、これからも仲間とともに息を合わせながら、幸せな日々を過ごしていくことでしょう。

▼問い合わせ 川鍋 ☎554-1560

んでいるところです。腹式呼吸に合わせ、手の指先から足のつま先まで、全身に神経を集中させて行う緩やかな動きが、血行や新陳代謝の促進、内蔵機能や柔軟性の向上のほか、リラックス効果をもたらすなど、心身ともに若返ることができるのが太極拳のいいところです。「太極拳を始めたら、バランス感覚も良くなりました」と余裕の表情で片足立ちをするメンバーの皆さんは、その健康増進効果を実感しているようです。